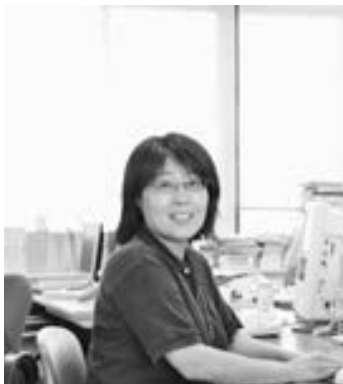


あゆみだより 健診の話

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診断などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は
古閑 裕子 保健師

自覚症状がないため、知らず知らずのうちに体をむしばんでいく生活習慣病。しかし、早期発見できれば、進行を遅らせたり症状を改善させたりすることができます。今月の町の健診を受診して、生活習慣病の早期発見に努めましょう。

健診は健康づくりの第1歩 年に1回、健診を受けましょう

❖生活習慣病の健診はなぜ必要なのでしょう？

病気の中には、発熱、腹痛などのように症状がはっきり現れる病気もありますが、初期にはほとんど自覚症状がない病気もあります。症状がない病気の代表格が生活習慣病です。初期にはほとんど自覚症状がないため危機感を感じることが少ないようです。しかし、知らず知らずのうちに、体をむしばんでいく病気です。

生活習慣病に関する健診の目的は、まだ自覚症状がない段階で潜在している病気を発見して、生活習慣病になりやすいリスクがあるかどうかを確認して、その後の適

切な対応につなげることです。

病気が発見されるのは怖いし、その後につらい精密検査や治療が待ち構えているとなると、健診に尻込みしたくなるかもしれません。しかし多くの場合、健診で早期発見された生活習慣病は、生活習慣の改善や適切な薬物治療により進行を食い止めたり改善させたりすることができるとです。知らないことほど怖いことはありません。

❖町の健診を活用しましょう！

7月7日（日）～14日（日）の午前中に、町総合保健福祉センターで、行政区ごとに特定健診・後期高齢者健診・若者（わっかもん）健診とがん検診を行います。

●対象者と個人負担金

【特定健診】
・40～74歳の町国民健康保険加入者

「若者（わっかもん）健診」（20～39歳の国民健康保険加入者）は今年度から開始します。

4月の健診希望調査で申し込んだ人には、健診セットを配布しています。

今回の健診では、特定健診、後期高齢者健診、若者（わっかもん）健診は必ず受診していただきます。健診内容は、体格検査・血液検査・血圧測定・尿検査・心電図検査・医師の診察などです。

がん検診は、対象となる検診のうち希望する内容を選んで受診します。また、一定の年齢の人に、がん検診の無料クーポン券を送付しています（今回は国保加入者のみ）。ぜひこの機会にがん検診を受けましょう。

【がん検診】

検診名	内容	対象年齢	性別	個人負担金	町の負担
肺がん検診	胸部X線検査	40歳以上	男・女	500円	1,100円
	喀痰（かくたん）検査 ※ 1			1,000円	1,630円
胃がん検査	バリウム検査			1,500円	3,036円
大腸がん検査	便潜血検査			500円	1,140円
腹部超音波検診	上腹部超音波検査			1,000円	2,460円
前立腺がん検診	P S A 検査	50歳以上	男	500円	1,100円
子宮頸がん検診	内診・頸部細胞診検査	20歳以上	女	1,200円	2,790円
乳がん検診	超音波検査	30歳以上		1,000円	2,000円
	マンモグラフィ検査 ※ 2			1,500円	1,170円
肝炎ウイルス検査	B 型・C 型肝炎ウイルス検査 ※ 3	40～74歳	男・女	700円	1,760円

※1 医師の診断により必要な人のみ対象です。

※2 乳がん検診の超音波検査とマンモグラフィ検査を合わせて受診します。マンモグラフィ検査のみの受診はできませんのでご注意ください。

※3 これまでに受けたことがない人にお勧めします。

・個人負担金 1,000円
（町の負担 7,500円）
【後期高齢者健診】
・75歳以上の後期高齢者医療保険被保険者と65歳以上で一定の障がいについて認定を受けた人
・個人負担金 800円
（町の負担 7,600円）
【若者（わっかもん）健診】
・20～39歳の町国保加入者
・個人負担金 1,000円
（町の負担 7,500円）